

このコーナーでは、皆さんからのお便りをお待ちしています。
どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。
《あて先》〒861-3296 御船町役場「おたより」係 ※住所を書かなくても届きます。
《Eメールアドレス》 kanri@town.mifune.lg.jp
※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。

まちへのラブレター

長 い長い夏休みが、もうすぐ終わると思うとホッとします。毎日のお昼ご飯を朝から準備し、仕事から帰ってくる、汚れた食器の山。母ちゃん、頑張るべし！
(4人息子の母さん・陣)

い つものとおおり、お盆には、息子達夫婦がきてくれました。高齢の私達のいつもと変わらない夕食に華が咲きました。日本の伝統がいつまでも続きますように。
(Mさん・木倉)

本 当に暑かった、今年の夏休み。子ども達にとっては、よかったと思います。羽毛恐竜の世界展やアトっば祭り等、思い出はたくさん作れました。残すところ10日足らず。最初はまだまだ暑さが残るかわかりませんが、元気ですごしてくれるでしょう。ちよっぴりホッとしている母親です。
(Mさん・滝尾)

こ ちらに昨年の9月、神奈川県より引越をして来ました。主人と二人思い切った老後の人生を田舎で、緑の美しさや虫のなき声、小鳥のさえずり等を聞いて過ごしたいという思いで住み始め、本当に、毎日感謝の気持ちで過ごしております。こちらに来て、本当に良かったと思っています。
(Tさん・豊秋)



御船高校

NOW

〒861-3204
御船町木倉1253番地
☎ 282-0056
fax 282-1286
e-mail mifune-h@pref.kumamoto.lg.jp

「高木小学校学習支援活動」

8月4日、5日に高木小学校学習支援活動が行われました。
毎年、高木小学校を卒業した船高生が夏休みの宿題完成のお手伝いをさせていただく恒例行事です。今年卒業生が若干少なかったため希望者も募り、4日に1年生が16人、5日に2年生が5人参加しました。最初に船高生の挨拶があり、早速「授業」開始です！学年ごとに分かれた教室では、はじめこそお互いに緊張の面持ちでしたがすぐに打ち解けて一生懸命に取り組むことができました。いつもと違って質問を受ける側の船高生は小学生の鋭い質問に悪戦苦闘！教えることの難しさを実感したようです。たくさんさんの宿題に取り組み小学生も大変でしたが、ごうやら先生はもっと大変だったようです。

文芸

ひとひねり

短歌

絶筆の二首の短歌に合掌すやさしき面輪永遠に忘れじ 市川 結子
白寿まで短歌詠み過ぎし優人の花散る辞世に涙がにじむ 奥田利恵子
白寿まで身罷るまでも短歌詠めり肖りたきよ貴女の人生 甲斐レイ子
寝たきりになりても花鳥風月をのびのび詠めり九十九歳 金森 英子
染まる程青葉しげれる庭中に紅一処カーネーションの花 平野 文子
五十余年亡夫と守りし緑田を子が受けつぎて風なみ渡る 藤本 京子
運動会の朝には母の卵焼安値の卵に今昔思ふ 正宗タツ子
世の中のことも教えてもらいたる九十九歳の媿逝きたり 山本志満子

俳句

御船春菊句会 水野つとむ選
伝へたきことのおふれた天の川
野の風や歩せば聞こゆる秋の声
緒方 宣子
守田 律子

単線の駅は花野の帰り客
詩人のころ引き寄せ松虫草
炎天の日のモナリザの微熱かな
夏萩の花の重なる裏の木戸
遠花火御伽の国のあるところ
夏休み鍛形取りの小径かな
蛸や女忙しき厨ごと
丹生 則子
黒田 順子
さとうともこ
渡辺 澄江
緒方 栞
吉田登美子
渡辺ケイ子

肥後狂句

天狗会

溜まつとる 火山の腹はふくれ気味
つくじつて 隣りの軒止めらした
熊本が好き 名水の湧く池のある
勤の良さ 手先で計る調味料
損な話 がまだすほどに税は増え
ざまあみれ 追い越したつが捕まった
うつつかつつ ビデオ判定でももめる
掛け声ばかり 親の介護は人まかせ
増永 笑和
河地 ゆき
林田 実花
藤本 好水
川部 呉穂
吉田 楽園
木村 道草
田中 穂波

一般投稿

スニーカー乗りつぐバスや墓参り 山 紫
幾山河越えて生きたり九十年老いて幸せあの世も近し 松岡フミエ